

さいたま赤十字病院 院外報

かがやき

FREE

ご自由にお持ちください

Vol.46

平成30年度

3号



Contents

- 02-03 院長年頭挨拶 ニーズに即した質の高い医療の提供、地域包括ケアシステムでの役割強化、働き方改革の推進により、価値ある医療の提供に努めてまいります
- 04 クリスマスコンサート ヴァイオリンとピアノの美しい調べ
- 05 職員紹介 精神科 精神保健福祉士 椎名 是文
- 06 がんサロン紹介 悩みや体験、心配ごとを自由に語り合うコミュニケーション
- 07 コラム 信州りんご紀行 医療社会事業部長 広報委員長 石井 研史



日本赤十字社 さいたま赤十字病院
Japanese Red Cross Society



院長 安藤 昭彦

新病院をオープンして、丸2年が経ちました。昨年、団塊の世代が後期高齢者となる節目の年2025年に向けてさいたま医療圏における医療提供体制がどうあるべきかについて、5疾病5事業を中心に高度急性期に特化した医療の提供が当院の役割であることを説明させていただきました。おかげさまで、概ねこの地域における中核病院として相応しい医療を提供し、地域の皆様に評価をいただいているところだと感じています。今年はさらに当院の立ち位置を明確にするため、国を挙げて構築が勧められている地域包括ケアシステムにおける当院の役割について解説をし、年頭のあいさつとさせていただきます。

今まさに急ピッチで進められている医療改革へのシナリオともいうべき社会保障制度改革国民会議報告書(平成25年)から今後の医療のあり方、さらに高度急性期病院として当院に求められている機能を読み取り実践していくことが重要だと考えていますが、その前提としてわが国が置かれている状況あるいは背景を理解しておく必要があります。

その第一は社会環境の急激な変化を認識することです。日本は2008年のピークを境にジェットコースターで滑り落ちるように人口減少のフェーズに突入してしまっているということをまず知っておかなければなりません。高齢化は2025年問題として広く認知され対策が講じられつつあるところですがその先には現役世代、すなわち生産年齢人口の激減というさらに大きな難題が待ち受けていることに気付く必要があります。一人の高齢者を働き手一人で支えなければならない時代がすぐそこまでやってきているということです。したがって子育て支援や、元気なお年寄りに支える側に回っていただくことの他に、人工知能の活用、労働生産性を高めるための働き方改革、外国人労働者の確保などすでに政策のターゲットは2025年から2040年にシフトしています。

一方、急増する75歳以上の高齢者には高齢化に伴う出費が増える他、医療の高度化による経費が高むため、社会保障給付費はうなぎ登りで、日本の財政を大きく圧迫しています。にもかかわらず税収はほとんど増えていけませんので、消費税の増税で何とか賄おうとしています。到底間に合いません。いずれ20%、あるいはそれ以上に上げざるを得ないだろうとも言われています。いずれにしても今の社会保障制度を将来に向けて持続可能なものにするためには、税の負担を受け入れるとともに効率化によって支出を抑える努力が求められます。

2点目として医療需要における変化についても把握しておく必要があります。寿命が延びたことや栄養など生活環境が格段に良くなったことから、今や生活習慣病に起因する病気が疾病構造の中心となっています。したがって政策医療といわれるがん、心臓循環器疾患、脳卒中、糖尿病などへの対応が求められています。また、将来的にはより年齢の高い高齢者が増えることになり、肺炎や骨折が急増する予測となっています。このような医療ニーズの変化にも目を向けていく必要があります。さらに、確実に増えると予想されている認知症や独居老人等への対策も急性期病院の守備範囲になりつつあります。現役を退いてからこれらの問

題を抱えつつ平均 20 年前後生活して行かなければならない人々をどう支えて行くのか社会全体としての知恵と工夫が必要とされ、打ち出されてきたのが地域包括ケアシステムです。

ただし医療需要の変化は地域によって異なり、全国一律に対策を立てることが出来ないため、当院はさいたま医療圏での需要の変化を注視していく必要があるということになります。この地域では、がんや心筋梗塞、脳卒中、肺炎、大腿骨頸部骨折など高齢化と関連の深い疾患の需要がますます増えてくだろうと予測されています。当院ではしっかりとこれらの疾患に対応できる体制が整えられているものと考えていますが、さらに充実した医療の提供を心掛けて参ります。

3 番目は、新たな医療技術をどのように取り入れ、またどう付き合っていくのかという課題についてです。ICT 等をフルに活用することで一人一人に過不足のない効率的な医療を提供することが可能になってきました。また AI の技術でタスクシフト、タスクシェアの一端を担わせることも現実味を帯びてきました。ここ数年バイオ医薬品をはじめとして技術革新による高額薬剤が登場し実際の売り上げも倍増しています。これらの医薬品は国家財政をも脅かしかねないとされていることから、無駄に使用することなく費用対効果を考慮した判断も重要です。



このような社会情勢の変化をふまえたうえでわれわれに求められていることをまとめますと、①時代に則したニーズに対し質の高い医療を提供すること、②地域包括ケアシステムの枠組みの中で高度急性期病院としての機能をさらに強化するために病診・病々連携を推進すること、③働き方改革の推進などによって労働生産性を高め、より効率的で価値ある医療の提供に努めることになろうかと思えます。つまり、質の高い医療を提供することに加えて、必要に応じ早期退院を推進し、他の医療機関との役割分担と連携を行い、発症から入院、回復期、退院までスムーズに受け渡し、地域完結型医療の一端をしっかりと担っていくことが当院の地域包括ケアシステムにおける責務です。そのためには、入院前からの支援を強化し退院時には地域の関係者との連携を推進するなど、切れ目のないサポートができるように体制を整えることが重要です。「入院もしていないのに退院後のことを言われても…」とか、「病院を追い出すことしか考えていない」などお叱りをいただくことも多々ありますが、何卒ご理解いただきたいと思えます。

回復期や慢性期に比べ急性期医療にはより多くの医療資源の投入が必要です。かといって必要以上の投入は無駄を発生させ非効率となってしまいます。今や、必要最小限の医療資源の投入で高品質の医療を引き出す費用対効果の考え方が求められています。すなわちわれわれが目指すべき医療を実現させるため働き方改革や効率的な医療の実現といった課題とどう向き合い、折り合いをつけて価値ある医療を提供していくのか試されていると感じています。その一環としての病状説明の時間内実施や病状が安定した患者さんの「かかりつけ医」への逆紹介など、働き方改革への対応にも一層のご理解ご協力をお願いしたいと思います。

Christmas コンサート

さいたま赤十字病院
クリスマスコンサート



今年で8回目となる恒例の「クリスマスコンサート」を平成30年12月12日(水)、午後1時30分から1時間、2階多目的ホールにて開催しました。

今回は、ボランティアとして県内各地で演奏をされているミューズアンサンブル(ヴァイオリン菊池博子さん、ピアノ武藤直美さん)のお二人にご出演いただき、外来や入院患者さん、地域のみなさまなど約130名の方がお越しになりました。

スタンダードナンバーから、一緒に歌えるクリスマスの定番ソングまで、幅広いジャンル全10曲を披露してくださり、多くの聴衆の皆さんが終始ロマンチックなメロディに包まれて、一足早いクリスマスのひと時を過ごされました。

患者さんからは、「まさか病院でこのような素敵な演奏を聴くことができ、クリスマスの気分を味わうことができるとは思わなかった。」「入院中ですが、今回、たまたま生の楽器による演奏を間近で見ることができ、憂鬱だった気分が少し晴れました。」など今年も好評でした。

次回も、楽しいクリスマスコンサートを企画したいと思います。多数のご来場、ありがとうございました。

医療サービス検討委員会
医療社会事業部



出演者

ミューズアンサンブル

- ヴァイオリン 菊池博子
- ピアノ 武藤直美

曲 目

- ジュピター
- アヴェ・マリア
- アメイジング・グレース
- ユーモレスク
- マイウェイ
- 愛の賛歌
- アヴェ ベルム コルプス
- 神の御子は今宵しも
- 星に願いを
- きよしこのよる

全10曲





精神科 精神保健福祉士 椎名 是文



精神保健福祉士 (PSW) の業務について

皆さんは**精神保健福祉士 (以下 PSW)**をご存じでしょうか？



精神保健福祉士は、「精神科ソーシャルワーカー (PSW)」とも呼ばれる専門職に就く為の国家資格で社会福祉士や介護福祉士と並ぶ三大国家資格の一つと呼ばれています。

近年、複雑・多様化したストレス社会で、うつ病などの気分障害や認知症 (アルツハイマー病など)、自殺、引きこもり、アルコール問題など社会問題となっていることもあり、子供から高齢者、職場や家庭に学校などさまざまな場面においてメンタルヘルスの需要が高まっています。

PSW は、精神科医療・精神保健領域において、精神疾患や精神障害を抱える人、精神保健上の問題を抱える人と、その家族を対象に求められる相談・支援・訓練・環境調整など行なっています。近年では、更生保護・司法・教育現場 (スクールソーシャルワーカー)、災害現場など幅広い領域・職域で求められ活動しています。

精神科身体合併症病棟 (MPU : Medical Psychiatry Unit) について

さいたま赤十字病院では、これまで精神科医療を専門的に提供ができる病棟がありませんでしたが、平成 30 年 5 月に MPU 6 床を新設しました。

MPU とは、精神保健福祉法に基づく閉鎖病棟です。薬物中毒や自殺企図などで当院の高度救命救急センターへ搬送された患者さんや元々精神疾患を抱えている方、当院入院中の患者さんで身体疾患の治療を要して入院している方で精神症状が不安定になられた方など一般病棟では対応困難な患者さんが入院治療を受けて頂くことが出来る専門病棟です。

当院における PSW の役割について

PSW は精神科に所属し、精神科医師や臨床心理士とともに入院中の患者さんやそのご家族へのメンタルヘルスケアに従事しております。

具体的には、MPU のベッドコントロールや保健・福祉に関する知識と技術を活かし、患者さん・ご家族が安心して入院生活や退院後の生活が送れるようにお話を伺い必要な医療・福祉制度や社会資源に関する情報提供を行なうなどの相談援助や心の悩みや生活のしづらさなど生活問題・社会問題への問題解決のための社会生活技能訓練 (SST)・助言・指導を行い社会復帰への支援を行なっています。また、身体的な治療が終えてもなお、継続的にメンタルヘルスケアの必要な患者さんや同時に身体的リハビリの必要な患者さんもおられますので、そのニーズに合わせて外来通院や精神科病院、一般病院 (回復期リハビリ病院など) への退院 (転院) 支援等も行なっています。

その他、院内活動として、認知症ケアチームの一員として週 2 回のラウンドにも同行させていただき、認知機能の低下をした患者さんへの総合的なケアの質の向上を目指した活動にも関わらせて頂いております。

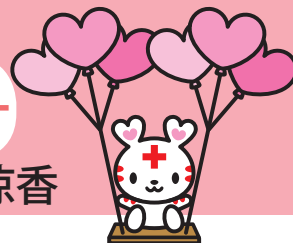
最後に、院内の身体各科の先生や多職種との連携はもちろんですが、近隣の医療機関や地域・行政などの関係機関とも連携を取っておりますので何かございましたらお気軽にご相談ください。



新病院の ご紹介

がんサロン・ほほえみ・図書・情報コーナー

がん化学療法看護認定看護師 認定がん専門相談員 松島 涼香

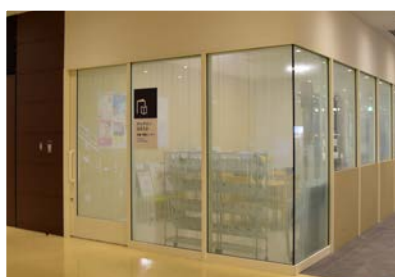


当院は、地域がん診療連携拠点病院として、がんに関連する冊子やパンフレット等の情報提供を行っています。冊子やパンフレットはご自由にお持ちいただけます。書籍につきましては、室内での閲覧をお願いしていますので、ご了承ください。またパソコンを設置して、インターネット環境も整備しています。がんに関連する情報の閲覧にご利用ください。

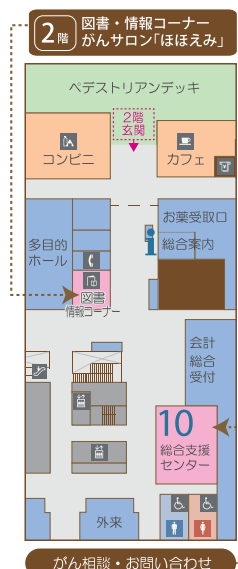
がんの患者さんやご家族の方同士が悩みや体験、心配ごと等を自由に語り合うためのコミュニケーションの場として、『がんサロン』を毎月1回、第3金曜日（祝祭日は休み）の14時から15時まで開催しています。

また、この時間帯を利用してアピアランスケアも行っています。アピアランスケアとは、がん治療の副作用によって生じる外見への影響に対して行うケア（スキンケア・メイク・つめのケア・ネイル・ウィッグ・手作りタオル帽子等）です。副作用の影響において気になっていること、悩んでいること等も、ご相談ください。

がんサロンに訪れる方の多くは、つらさや不安を抱えた患者さんとお家族です。がんサロンでは同じ病気ではなくても、似た体験や思いを共有されたり、共感できることは多くお互いに支え合いながら過ごされています。また病気のことだけではなく、何気ない日常の会話も多く時には笑顔を交わしながら同じ空間を過ごされています。そこには温かい空気が流れていて、どこか『ホッとする』時間ともなっているようです。当院にかかれていない方もご参加いただけます。ご予約は必要ありませんので、どうぞお気軽にお越しください。



- 他の方はどうしているのだろう？
- 自分だけがこんな思いをしているのかな？
- 同じような体験をしている方と話しがしたい
- テレビを見ていても映像や音が流れているだけで何も入ってこない
- 常に心のどこかでがんのことを考えている



- こんな思いをしているのは、自分だけじゃないと思えた
- 話しが出来て気持ちが楽になった
- 病名は違っても気持ちは同じ
- 家にこもりがちだったけど、がんサロンが外に出る機会となった
- こんなに話を聞いてもらえて嬉しい
- ウィッグの準備や使い方が分かって安心した
- ネイルをしたら元気が出た

がんサロン

開催日 毎月第3金曜日 ※祝はお休み
開催時間 PM2:00 ~ PM3:00

図書・情報コーナー

利用日 平日 ※土・日・祝はお休み
利用時間 AM8:30 ~ PM5:00

信州りんご紀行

さいたま赤十字病院 医療社会事業部長
(広報委員長) 石井 研史



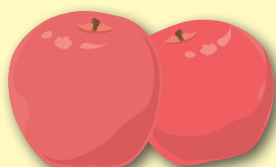
乾燥した気候と毎日吹く山風のおかげで葉から多量の水蒸気が蒸散し、養分をふんだんに含んだ峰からの湧水は植物の根毛を常に湿らせている。特に千曲川南側の土地は粘土質で農作物には適している。信州の名産であるりんごの味は「五輪久保」が最高だという。五輪は長野オリンピックにちなんで命名した地名とのことである。久保は元々の地名であろう。この地区のたった 14 軒の農家がりんご組合を作り、りんごをブランド化して他の追随を許さないのだという。

特に 11 月の下旬から 12 月にかけて収穫される品種である「ふじ」はりんごの女王である。歯ごたえがしっかりしており果肉にははちきれんばかりにみつが詰まっている。太陽にかざすと光が透過してしまうほどである。朝な夕な果実に霜が降りるほどの寒さに耐えて、りんごはそのみつを果肉に充満させ、凍結を避けようと踏ん張る。収穫後に時間がたつてりんごが柔らかくなり風味が失われることを信州では「ぼける」というが、最もぼけにくいのがこの品種であり、雪の下に放り込んでおけば春まで食べられるともいう。

11 月下旬に同地区を訪ねたところ収穫は最盛期に入り、箱詰めされたりんごが山と積まれている。昨秋は台風も多かったが、暴風は周囲の三千メートル級の山々にブロックされたため木を倒すことなくはるか上空を過ぎ去った。今シーズンは果物ばかりでなくキノコや米も豊作で、味もいいとのことであった。農作業小屋に入るとご主人に早速味見するよう指示され、今シーズン初めてのふじを食した。10Kg を送料 1000 円で地方発送できるのがうれしい。また地面に落下したり、鳥がつついたりりんごは「ただでいくらでも持って帰ってよい」といわれ鞆にしこたま詰め込んで帰宅した。

毎年ふじを食するこの瞬間を楽しみにしている職員でも、初めて食する職員でも新鮮な味覚に驚きの声を発する。「まるでシャーベットを食べてみたい。」太ることを気にする若い女性職員たちも集まってくるりんごパーティの風景である。りんごの皮を手際よくむける女性が少なくなったのは気になるが、職員の幸せそうな笑顔を見るのは楽しい。

五輪久保りんごにご興味を持たれた方は、鷹野りんご園 (0267-56-2834 090-2533-8881) までお問い合わせを。きっとご満足いただけること、間違いなしです。



患者さんの声にお答えします。

ご意見

2Fエスカレータから3Fに上った時35番窓口がわかりづらい。エスカレータから振り返って見ても35番の表示が柱で隠れていて見えない。エスカレータ側から35番が見えるように表示して欲しい。

お答えします

ご不便をお掛けして申し訳ございません。

早速、担当部署にて対応を検討し、35番が見えるように表示いたします。

ご意見

病室が汚いように思います。例えばベッドの下、部屋の隅に綿ぼこりが溜まっていて気になります。

お答えします

ご指摘をいただきありがとうございます。

担当部署を通じて清掃業者の責任者へ改善を指示しました。清掃スタッフを再度教育し皆様方に安心してご療養いただけますよう努めてまいります。

ご意見

院内の施設設備について、自動販売機の取り出し位置が低い。

お答えします

ご不便をお掛けして申し訳ございません。

自動販売機設置業者に確認しましたところ、商品の取り出し口が機械中段にある自動販売機は製造中止との回答を得ております。ご不便をお掛けいたしますが現行の自動販売機をご利用ください。



さいたま赤十字病院の理念

赤十字の人道・博愛の精神に基づき、信頼される医療をおこないます。

さいたま赤十字病院の基本方針

1. 患者さんの権利を尊重します。
2. 地域との円滑な医療連携に努めます。
3. 医療の質の向上に努め、安全な医療を提供します。
4. 優れた医療人の育成に努めます。
5. 国内及び国外での医療救援活動に積極的に参加します。

患者さんの権利

1. 公平で適切な医療を受ける権利
2. 個人の尊厳が保たれ、人権を尊重される権利
3. プライバシーが守られ、個人情報保護される権利
4. わかりやすい言葉で検査や治療などの説明を受ける権利
5. 自己の決定権が確認され、医療行為を選択する権利
6. 安全・安心な医療を受ける権利
7. 他施設の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞く権利
8. 自己の診療記録等の開示を求める権利

患者さんに守っていただく事項

1. 健康に関する情報を医師や看護師等にお知らせください。
2. 医療行為については、納得したうえで指示に従ってお受けください。
3. 病院内ではルールを守り、他の人に迷惑にならないよう行動してください。
4. 診療費の支払い請求を受けた時は、速やかにお支払いください。